

編 集 後 記

初めての歯学部ニュース編集委員で、なに一つわからない状態からスタートしましたが、とりまとめ役の大島勇人先生が作成して下さった丁寧なフォーマットをもとに庶務係、学務係の方々、第1号編集委員の先生方のお力添えを頂き、なんとか発刊にたどり着くことができました。また、このところ益々お忙しくなられているにも関わらず、原稿執筆の依頼をお引き受け下さった先生方ならびに貴重な患者さんの手記を特別寄稿として掲載することを提案して下さった田井先生にこの場を拝借して御礼申し上げます。さらに、実際に編集を担当させて頂いたことにより、この歯学部ニュースが新潟大学歯学部にとって非常に重要な冊子であるということを改めて認識することができました。ご協力下さったすべての方に感謝致します。ありがとうございました。

この度、初めて編集担当をさせていただきました。と言っても任命されるままに会議に参加し、今回の委員に決定したものです。従って、原稿依頼をただけでほとんど何もしていません。ご多用の中、原稿依頼を快くお引き受けくださった諸先生方には御礼申し上げます。尚、色々と御指導いただきました藤井先生大変ありがとうございました。

歯学部の編集員を担当させていただいたと言いましても、新潟大学歯学部広報委員会の大島勇人教授から掲載内容や依頼文など細部にわたりアドバイスをいただき、とても「楽」をさせていただいたと思います。原稿依頼をお願いした先生方には快くお引き受けいただき、提出期限も守っていただき本当に感謝しています。学務の方には歯学体や入学の言葉など多くの学生に原稿依頼をしていただき、また、中々提出してくれない学生への催促をしてくださるなど、本当にありがとうございました。

「歯学部ニュースって何？」が編集委員を任命された時の第一声でした。4月から新潟大学に来ている私にとっては、歯学部ニュースを読むのも初めてで、編集委員会でも知っている方は少なくドキドキものでした。あれから早4ヶ月。藤井第1号編集責任者をはじめ周りの方々と、文明の利器のメールのお陰で、なんとか仕事を終了することができました。その間、過去の歯学部ニュースを読むことで新潟大学歯学部を垣間見ることができたこと、歯学部に（ほんの少しですが）知り合いが増えたことが最大の利点だったように思います。また、自分自身「素顔拝見」の文章を作成するにあたり、これまでの自分を振り返ることができました。この場をお借りしまして多くの方々に感謝致します。ありがとうございました。

平成17年度歯学部ニュース第1号編集担当

藤井 規孝（歯科総合診療部）

隅田 好美（口腔生命福祉学科）

佐藤 尚美（口腔環境・感染防御学分野）

渡邊 清志（歯科総合診療部）

石川 裕子（口腔生命福祉学科）

歯学部ニュース

平成17年度第1号（通算107号）

発行者 新潟大学歯学部広報委員会
編集責任者 藤井規孝
編集委員 隅田好美、佐藤尚美、渡邊清志、石川裕子
印刷所 (株)プライムステーション